

政策名	5安全な港		責任者	総務部 危機管理室担当課長	連携担当課
基本施策名	07危機管理機能の強化				
個別施策名	21防災対策を強化する		連絡先	052-654-7813	(企画調整室)計画担当
事務事業名	12防災対策におけるシステムの管理運営				

1 PLAN(目的・概要)

目的	各システムを適切に管理し、災害時の防災対策及び防災活動に活用します。	事業期間	平成21年度～継続
概要	港湾用防災無線局、防災気象・潮位予測情報システム(MICOS)及び緊急地震速報システムを適切に管理し、防災対策及び防災活動に活用します。	根拠法令・要綱等	名古屋港管理組合防災計画
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	港湾用防災無線局 年間保守点検、通信テスト(月1回) MICOS 年間保守点検、防災対策本部での活用 緊急地震速報システム 年間保守点検、訓練での使用 [平成21年度実施内容、新庁舎、維持管理担当、堀川水門のシステム移設]						
活動指標	年度	19	20	21	22	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
保守点検	単位	目標			3	3	各システムにおける年間保守点検の実施
	システム	実績			3		
訓練、防災対策等での活用	単位	目標			15	14	防災無線通信テスト12回(12回)[12回]+緊急地震訓練使用3回(2回)[1回]+MICOS防災対策本部活用-回(3回)[1回] ※()内は実績、[]はH22目標
	回	実績			17		
事業費	千円			11,942	15,980		
人員 正規職員	人			0.50	0.80		港湾用防災無線局 302千円[2,081千円] MICOS 8,256千円[10,329千円] 緊急地震速報システム 3,384千円[3,570千円]
	嘱託職員	人					
人件費相当額	千円			4,291	7,022		
事業費・人件費の合計	千円			16,233	23,002		

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
障害の発生	単位	目標			0	0	訓練、防災対策等での活用時において、システムに障害が発生した回数
	回	実績			0		
	達成率(%)						
観点	単位	目標					現状の「見える化」
		実績					
	達成率(%)						
必要性	組合関与の必要性	有・(無)	・本組合の防災対策において必要なシステムです。				その他特記事項
	目的・水準の妥当性	有・(無)					
	利用者などの対象者ニーズ	有・(無)					
有効性	成果の達成度	有・(無)	・障害が発生しないよう各システムを適切に管理し、災害時の防災対策及び防災活動に活用します。				※事務事業の目的(対象・意図)が類似しているため、次の事務事業をこの事務事業に整理統合しました。 5-07-21-13防災気象・潮位予測情報システムの管理運営 5-07-21-14緊急自身速報システムの管理運営
	内容の妥当性	有・(無)					
効率性	実施主体の妥当性	有・(無)					
	受益者負担の適正性	有・(無)	・システムの更新時等に合わせ、より効率的なシステムとなるよう検討していきます。				
	経済性	有・(無)					

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大			防災管理上必要なシステムであるため。
		維持		○	
	縮小				
		縮小	維持	拡大	
		コスト			
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等	災害発生時の予防・応急復旧時にシステムを活用し、被害状況の把握等迅速な対応を図るためにも、日頃の保守・管理が重要であると共に、効率的なシステムとなるよう検討していきます。				